



茶の都しずおか創造セミナー

東アジアの視野からとらえた 日本茶

—近代史から探る日本茶の輸出戦略—

今年、清水港は開港 120 年を迎える。清水港は茶の貿易とともに発展し、静岡茶の隆盛を支えてきた。近年世界の緑茶需要が増大し、再び日本茶の海外輸出も増加傾向にある。本セミナーでは、東アジアの視野から日本茶の近代史を捉えることで、世界的視点で日本茶の真価に迫る。

講演

◆ 世界的茶貿易商社から見た近代東アジアの茶業

戸部 健 静岡大学学術院人文社会科学領域 教授

清水港が開港して世界中の国々に日本茶が渡っていった時代、日本茶を含む東アジアの茶は海外の企業にとってどのように位置付けられていたのか。英国を拠点とする世界的茶貿易商社の資料を紹介しつつ考える。

◆ アジアとのかかわりから見た明治期の日本茶輸出

粟倉大輔 静岡県立大学グローバル地域センター 特任助教

明治期以降の日本茶輸出において海運の整備は大きな役割を果たした。開港場で発展した茶再製業と中国はじめ諸外国とのかかわりを通して、日本産業史における茶業の役割に迫る。

◆ 戦前の朝鮮半島の茶文化の変遷と日本茶の拘わり

長田幸子 韓国・水原大学校教養大学 助教授

進行 中村順行 静岡県立大学茶学総合研究センター長

開催日時・会場

- 平成 31 年 3 月 12 日 (火)
午後 2 時 00 分～4 時 00 分
- 静岡県男女共同参画センター
あざれあ 4 階 第 1 研修室
(静岡市駿河区馬淵 1 丁目)

参加無料

- 定員 80 名
(定員になり次第締め切ります)

申込方法

- メール
件名を「セミナー申込み」、本文に「氏名」を記載の上、以下へ送信して下さい。

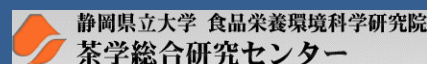
tea@o-cha.net

- 電話
公益財団法人世界緑茶協会
054-654-3700

主催



協力



問い合わせ先

公益財団法人世界緑茶協会

〒422-8067 静岡市駿河区南町 14-1

水の森ビル 3F しずおか O-CHA プラザ

TEL 054-654-3700

<http://o-cha.net/>